

Title	慶應義塾大学附属研究所斯道文庫平成二十八年度彙報
Sub Title	Report of 2016
Author	
Publisher	慶應義塾大学附属研究所斯道文庫
Publication year	2017
Jtitle	斯道文庫論集 (Bulletin of the Shidô Bunko Institute). No.52 (2017. ) ,p.199- 213
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	Article
URL	<a href="https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00106199-20170000-0199">https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00106199-20170000-0199</a>

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

慶應義塾大学  
附属研究所  
斯道文庫  
平成二十八年度彙報

I 人 事

○文庫長・主事

平成二十八年九月末日を以て佐藤道生君が文庫長の任期を、堀川貴司君が主事の任期をそれぞれ満了、十月一日付を以てともに重任した。両君の任期は三十年九月末日まで。

○文庫員

平成二十八年四月一日付を以て、新たに高橋悠介君を准教授に任用した。また、川上新一郎君に名誉教授の称号が授与された。佐々木孝浩君が「日本古典書誌学研究およびその普及啓蒙活動」により義塾賞を受賞、二十八年十一月十一日に北館ホールにて表彰式が行われた。二十九年二月二十二日、住吉朋彦君が福澤諭吉記念慶應義塾学事振興基金による補助金を得て約一年間の海外留学に出た。留学先は米国カリフォルニア大学バークレー校で、同校東アジア図書館所蔵の今関天彭旧蔵漢籍の調査を目的とする。二十九年三月末日を以て、高橋智君が移籍の

ため文庫員の任を離れた。同君は昭和六十二年四月より研究嘱託を二年間、平成元年四月より文庫員を二十八年間務めた。

○文庫委員

平成二十八年四月一日付を以て、文学部教授岩間一弘君に新たに委嘱した。二十九年三月末日を以て、文学部教授関根謙君が定年退職のため任を離れた。

○研究嘱託

平成二十八年四月一日付を以て、文学部教授石川透君、文学研究科後期博士課程の矢島明希子君の任期を更新、新たに文学研究科後期博士課程の大木美乃君に委嘱した。三君の任期は三十年三月末日まで。また、二十八年九月末日を以て、プリンストン大学助教授ブライアン・スタインガー君、二十九年三月末日を以て、鶴見大学教授金文京君、経済学部教授津田眞弓君、文学部教授小川剛生君の任期が満了となった。

○事務職員

(二十七年年度追加) 平成二十七年四月一日付を以て野島江里君が事務嘱託に就任した。

平成二十八年四月一日付を以て大関直樹君が事務嘱託に就任した。二十九年二月一日付を以て事務長酒井明夫君(福澤研究センター事務長兼任)が新たにアート・センター事務主任を兼任した。

## II 斯道文庫委員会

第一回・平成二十八年六月二十二日(水)

### 〈審議事項〉

- 1 文庫長の改選について  
佐藤道生君を文庫長に重任する件。
- 2 平成二十九年年度補充人事について  
九月に正式決定する高橋智君の移籍に伴い、後任の選考を文庫内で進めておく件。
- 3 平成二十八年度の研究事業計画について
- 4 平成二十八年度塾内出講の追加について  
文学部専任教員の休暇延長の可能性に伴い文庫員が代理出講する件。

### 〈報告事項〉

- 1 平成二十八年度予算について
- 2 台湾中央研究院歴史語言研究所との交流協定について

3 国際研究集会「日本における漢籍の伝流」について

以上承認。

第二回・平成二十八年十月二十六日(水)

### 〈審議事項〉

- 1 平成二十九年度の補充人事について  
文学部長より十月五日付で割愛願の出た高橋智君の後任として、大学院博士後期課程(文学研究科史学専攻東洋史学分野)の矢島明希子君を候補として人事小委員会を構成する件。

以上承認。

第三回・平成二十八年十一月十六日(水)

### 〈審議事項〉

- 1 平成二十九年度の補充人事について  
十一月九日の人事小委員会における審査内容の報告に基づき、矢島明希子君を助教として任用する件。
- 2 平成二十九年度予算について  
総額を前年度と同じとし、住吉朋彦君の海外留学等に伴い、調査研究旅費を減額、その分を図書購入およびマイクロフィルム複製等に充当した等の件。
- 3 平成二十九年度斯道文庫設置講座・同書誌学講座の担当について  
設置講座は一戸渉・高橋悠介両君で担当し、書誌学講座のう

ち住吉君担当予定分を休講とする件。

〈報告事項〉

1 平成二十七年度の研究成果について

以上承認。

〈審議事項②追加 十一月二十一日至二十八日持ち回り審議〉

2 平成二十九年度予算について

センチュリー文化財団赤尾基金予算案の件。

以上承認。

第四回・平成二十九年三月三日（金）

〈審議事項〉

1 研究嘱託の新規委嘱・任期更新について

文学部准教授合山林太郎君、大学院博士後期課程（文学研究科国文学専攻）田口暢之君に新たに委嘱し、経済学部教授津田眞弓君、文学部教授小川剛生君の任期を更新する件。

2 平成二十九年度斯道文庫員の塾外出講について

3 平成二十九年度センチュリー文化財団赤尾基金による研究補助について

運営委員会

の提案に基づき、津田眞弓君、一戸渉君、大学院博士後期課程（文学研究科史学専攻日本史分野）渡邊浩貴君に各二十万円の補助を行う件。

〈報告事項〉

1 平成二十九年度予算について

2 「斯道文庫論集」第五十一輯の上梓について

3 福澤基金による住吉朋彦君の海外留学について

4 台湾中央研究院歴史語言研究所との学術交流協定について

以上承認。

### III 研究調査

斯道文庫は、日本および東洋の古典籍について、原本調査に基づく書誌学的研究を行い、その成果を広く公表することを目的とする。本年度の研究事業計画は以下の通りである。

一 国書の部

I 中世以前成立の韻文の研究 \*各々注釈書を含む

1 勅撰和歌集諸本の研究 佐々木孝浩

2 勅撰作者部類の伝本研究 小川剛生

3 中世歌合諸本の研究 佐々木

4 大内氏関連和歌短冊資料の研究 佐々木

II 中世以前成立の散文の研究

1 源氏物語諸本の研究 佐々木

2 土佐日記注釈史の研究 一戸渉

3 室町時代物語諸本の研究 石川透

4 中世仮名法語の研究 高橋悠介

5 中世聖徳太子伝の研究 高橋悠介

- 6 中世唱導資料の調査研究 高橋悠介
- 7 能楽関係資料の調査研究 高橋悠介
- III 近世成立の韻文散文の研究
- 1 近世歌文集の調査研究 一戸
- 2 近世後期小説の研究 津田真弓
- IV 学者・学問史の研究
- 1 中世真言密教の聖教の調査研究 高橋悠介
- 2 近世和学・国学資料の調査研究 一戸
- 二 日本漢学書の部
- (国書のうち漢文体著作および漢籍注釈・改編書等)
- I 博士家関係書の調査研究
- 1 中古・中世漢詩文集の調査研究 堀川貴司・住吉朋彦・  
ブライアンスタインガー・大木美乃
- II 禅林関係書の調査研究
- 1 漢籍・禅籍注釈書および類書類の調査研究 堀川・住吉
- 2 漢詩文集・語録類の調査研究 堀川・住吉
- III 近世漢学者の著作研究
- 1 近世漢詩文集の書誌調査 堀川・住吉
- 2 林羅山著作類の調査研究 堀川
- 3 松崎謙堂自筆稿本並びに書入本の調査 高橋智・堀川
- 4 近世・近代漢学者の筆跡類の研究 堀川
- III 漢籍の部——漢籍総目録編纂のための書誌調査並びに研究
- I 中国版本(宋元版・明清版)の調査研究
- 1 中華再造善本の整理と日本所在宋元版の伝来研究 高橋智・矢島明希子
- 2 祝穆編書の版本調査 住吉
- 3 三国志演義版本の研究 金文京
- 4 日本所在中国戯曲テキストの調査と研究 金
- 5 毛詩草木鳥獸虫魚疏の版本研究 矢島
- II 旧鈔本の調査研究
- 1 論語古鈔本の研究 高橋智・矢島
- 2 紀伝道関係漢籍の日本旧鈔本の調査 スタインガー
- III 日本刊本の調査研究
- 1 五山版の研究 高橋智・堀川・住吉
- 2 古活字版の研究 高橋智・堀川・住吉
- 3 和刻本の調査 高橋智・堀川・住吉
- IV 朝鮮版・越南版の調査研究
- 1 ガスパルドヌ文庫越南版の調査 高橋智
- 2 朝鮮後期文集類の版本研究 住吉
- 四 蔵書調査・目録の作成
- I 斯道文庫蔵特殊文庫善本類他

- 1 垣堂文庫目録の作成 高橋智・堀川・住吉・矢鳥 津田
- 2 亀井家学文庫未整理本並びに新収本の整理と調査 堀川 一戸
- 3 ガスバルドヌ文庫目録の作成 高橋智 堀川・住吉
- 4 センチュリー文化財団寄託資料目録の作成 全員 堀川・住吉
- 5 今関文庫目録の作成 堀川・住吉
- 6 斯道文庫所蔵古典籍資料の目録データベース作成 全員 堀川・住吉
- II 旧藩校等の蔵書調査・目録作成
- 1 紀州藩文庫蔵書 高橋智
- 2 興讓館高等学校蔵書 高橋智・堀川 全員
- 3 熊本藩時習館文庫蔵書 高橋智
- 4 高鍋藩蔵書 高橋智
- 5 江戸時代藩校蔵書印譜の研究 全員 堀川・住吉
- III 諸文庫の蔵書調査
- 1 建仁寺両足院蔵書調査 堀川・住吉・高橋悠介
- 2 陽明文庫蔵漢籍準漢籍の調査 高橋智・堀川・住吉
- 3 佐川町立青山文庫蔵書調査 住吉・堀川・一戸・高橋悠介
- 4 正宗文庫蔵書の調査 小川 「斯道文庫蔵文人・学者書状ならびに墨蹟類の整理と修復」本
- 5 慶應義塾大学蔵近世後期小説と周辺文芸書の調査 塾松永記念文化財研究基金
- 6 慶應義塾図書館蔵橋本経亮旧蔵「香果遺珍」の調査 津田
- 7 小布施町岩松院蔵書の調査 堀川・住吉
- 8 宮内庁書陵部蔵漢籍の調査 高橋智・堀川・住吉・金・矢鳥・大木
- 9 国立歴史民俗博物館蔵古刊本の調査 住吉
- 10 大仙寺蔵書調査 堀川・住吉
- 11 尾道市立中央図書館蔵書の調査 住吉・堀川・一戸・高橋悠介
- 12 飯沼山円福寺蔵書調査 全員
- IV 書物文化史の研究
- 1 日本古典籍の形態学的研究 佐々木
- 2 中国蔵書文化の研究 高橋智
- 3 版木の調査研究 高橋智・住吉
- 4 近世入木道の研究 一戸
- 研究助成（文庫員が代表者を務めるもののみ）
- 「公家文庫収蔵漢籍の調査研究―近衛家蔵書を例として―」（二）
- 本塾学事振興資金 百万円 住吉・高橋智・堀川

六十一万七千円 一戸・堀川・佐々木

渡邊浩貴（大学院文学研究科後期博士課程）

「宮内庁書陵部収蔵漢籍の伝来に関する再検討―デジタルアーカイブの構築を目指して―」日本学術振興会科学研究費補助金（基盤研究A）三百四十万円 住吉・高橋智・堀川・金

「近衛家瀬を中心とする近世期公家・文人書簡類の研究」（二十万） 緑川明憲（横浜初等部教諭）

「斯道文庫所蔵古典籍解題目録データベースの作成」同（基盤研究B）百六十万円 文庫員全員（代表堀川）

「古筆本家旧蔵古筆切類の書誌学的研究」（二十万円） 佐々木 ○文庫員・研究嘱託の主な研究成果 高橋智

「橋本経亮旧蔵資料の悉皆調査を通じた近世和学研究の基礎構築」同（若手研究B）百四万円 一戸

南北朝時代古鈔本『論語集解』の研究―台北故宫博物院所蔵楊守敬観海堂本について―（『藝文研究』第一一一号・二十八年十二月）

「称名寺聖教を中心とした東国寺院における唱導資料と説話に関する研究」同（基盤研究C）九十万円 高橋悠介

漢籍外典古写本研究資料―斯道文庫蔵本について―（『斯道文庫論集』第五十一輯・二十九年二月）

「日本の近世における中国漢詩文の受容―三体詩・古文真宝の出版を中心に―」国文学研究資料館共同研究 百二十五万円 高橋智

海を渡ってきた漢籍―江戸の書誌学入門―（B6判二二二頁・日外アソシエーツ・二十八年六月） 佐々木孝浩

○センチユリー文化財団赤尾記念基金研究補助（二十七年分補遺）

「小松茂美旧蔵漢籍・和漢書の経部および集部書籍の調査研究」（三十万円） 榎村和史（商学部教授）

日本古典書誌学論（A5判五五二頁・笠間書院・二十八年六月） 室町・戦国期写本としての「大島本源氏物語」（『中古文学』第九十七号・二十八年六月）

「古筆本家旧蔵古筆切類の書誌学的研究」（三十万円） 佐々木（二十八年分）

後嵯峨院歌壇の再検討―亀山殿五首歌合を中心にして―（『日本文学研究ジャーナル』創刊号・二十九年三月）

「経筒・経塚の中世景観―荘園現地調査によるアプローチから―」（二十万円）

キリシタン版国字本の造本について―平仮名古活字本との比較を通して―（『斯道文庫論集』第五十一輯）

堀川貴司

公家の学問と五山（「中世文学」第六十一号、二十八年六月）

五山文学における画賛（「観世」第八十三卷第八号、二十八年

八月）

禅籍研究（一）翻刻 駒澤大学図書館蔵『禪宗雜毒海』（上）（駒

澤大学禪研究所年報」第二十八号・二十八年十二月、飯塚大

展との共著）

『江湖風月集略註』研究（九）（同右、飯塚大展・佐藤俊晃・比

留間健一との共著）

慶應義塾所在近世文人書簡筆跡類総覧（三）三田メデアセン

ター貴重書室（その二）（「斯道文庫論集」第五十一輯）

書評 小財陽平著『菅茶山とその時代』（「国文学研究」第一八

一号、二十九年三月）

富樫広蔭・広厚書簡について（「愛知県立大学文字文化財研究

所紀要」第三号、二十九年三月）

瀟湘八景の受容と変容（「第三十八回特別展 土浦八景―よみ

がえる情景へのまなざし」土浦市立博物館、二十九年三月）

瀟湘八景在日本的受容与流变（「湖南科技学院学报」第三十八

卷第三期・二十九年三月・再録訳）

上村觀光来簡集『交遊帖』解題と翻刻（「花園大学国際禅学研

究所論叢」第十二号・二十九年三月）

住吉朋彦

韻類書をめぐる断章―五山僧習学の一面―（「学芸と文芸 生

活と文化の歴史学9」・竹林舎・平成二十八年八月）

『韻府群玉』版本考・拾遺（「斯道文庫論集」第五十一輯）

一戸涉

平成二十八年年度センチユリー文化財団寄託品展覧会 描かれた

古―近世日本の好古と書物出版―（A5判二十三頁・慶應義

塾大学附属研究所斯道文庫・慶應義塾大学アート・センター・

二十八年十一月）

藤貞幹『寛政元年東遊日録』について―附・慶應義塾図書館蔵

本翻印―（「斯道文庫論集」第五十一輯）

書評 蘆庵文庫研究会編『小沢蘆庵自筆六帖詠藻 本文と研究』

（「週刊読書人」第三一八二号・二十九年三月）

高橋悠介

伝白雲慧暎撰『由迷能起』について（天野文雄監修『禪からみ

た日本中世の文化と社会』ぺりかん社・二十八年七月）

称名寺の神祇書形成の一端（「学芸と文芸 生活と文化の歴史

学9」）

密教聖教のかたち―装訂・符牒をよむ（「書物学」八・二十八

年八月）

能の亡霊と魂魄（「能と狂言」第十四号・二十八年九月）



伝憲深編『灌頂印明口決』と空観房如実（『斯道文庫論集』第

五十一輯）

金春禪竹の信仰圏と翁論―『明宿集』を中心に（『能楽研究叢

書七 金春家文書の世界―文書が語る金春家の歩み』法政大

学能楽研究所・二十九年三月）

金文京

福澤諭吉の漢詩（『図書』二十八年四月号）

福澤諭吉の漢詩27―明治十六年元旦の詩（『福澤手帖』一六九号・

二十八年六月）

書評 村上哲見『中国文学と日本十二講』（『和漢比較文学』第

五十七号・二十八年八月）

中国古典文学研究と漢籍データベース検索（『日本語学』二十

八年九月号）

日本所蔵稀見中国戯曲文献叢刊第二輯二十冊（二十八年九月・

広西師範大学出版社、黄仕忠・真柳誠・朱鵬・岡崎由美・

芳村弘道との合編）

『全宋文』訂正一則―江萬と江萬里（『汲古』第七十号・二十八

年十二月）

弘治本『西廂記』の底本とその内容上の特徴（『中國文學研究』

四十二期・二十八年十二月）

中国古代死生観の仏教による変容（駒澤大学佛敎文学研究所『佛

敎文学研究』第二十号・二十九年二月）

福澤諭吉の漢詩29―太郎、捨次郎のアメリカ留学（『福澤手帖』

一七二号、二十九年三月）

書評 日中民間信仰の地下水脈を照らす―山口建治『オニ考』

（『東方』第四三三号・二十九年三月）

石川透

室町物語影印叢刊六四・鶴亀物語（二十八年六月・三弥井書店）

同六五・落窪の草子（二十八年九月・三弥井書店）

同六六・北野縁起（二十八年十二月・三弥井書店）

同六七・八幡御縁起（二十九年三月・三弥井書店）

津田真弓

How should we read Hokusei Sappu?―『北越雪譜』をどう

読むか（慶應義塾大学アート・センター『年報』第二十三号・

二十八年七月）

天保改革の焼き直し作にみる戯作の変容―善玉悪玉を端緒に

（『日本文学』第六十五卷第十号・二十八年十月）

貴重書活用授業を体験して（慶應義塾大学メディアセンター

『MediaNet』第二十三号・二十八年十二月）

歌川国貞が描く合巻の浜辺―京伝黄表紙との比較から（鈴木健

一編『浜辺の文学史』三弥井書店・二十九年二月）

京伝店何十年（余）史にむけて（『山東京傳全集』第十二卷月報・

ぺりかん社・二十九年二月)

小川剛生

迎陽記 第二(史料纂集・八木書店・A5判三〇〇頁・二十八年十二月)

三浦道寸書写の新統古今和歌集切〔武蔵野文学〕第六十四号・

二十八年十二月)

兼好法師の伊勢参宮―祭主大中臣氏との関係を考証し出自の推定に及ぶ〔日本文学研究ジャーナル〕第一号・二十九年三月)

ブライアン・スタインンガー

Li Jiao's Songs: Commentary-Based Reading and the Reception of Tang Poetry in Heian Japan ([East Asian Publishing and Society] Volume 6, Issue 2・二十八年秋)

矢島明希子

史料翻訳『穆天子伝』訳注稿(4)〔史学〕第八十六巻第四号・

二十九年三月)(桐本東太監修・共著)

○学術交流協定

二十八年四月十一日、台湾中央研究院歴史語言研究所との学術交流協定を締結した。研究資料及び情報の交換、訪問研究者の受入と派遣、共同研究の推進を目的とし、有効期限を三年とするものである。これに関連して二十九年三月二十日―二十二日、佐藤文庫長・堀川主事が中央研究院を訪問、王明珂所長と

会談し、今後の交流について話し合うとともに、同所附属施設である傅斯年図書館・歴史文物陳列館を見学した。

#### IV 調査出張

平成二十八年四月十八日―二十三日 高知県佐川町青山文庫

住吉朋彦・一戸渉・高橋悠介

五月二十二日―二十八日 京都市建仁寺兩足院

堀川貴司・住吉・高橋悠介

七月二十四日―二十七日 井原市興讓館高等学校

堀川・高橋智

八月二十六日―二十九日 金沢市立玉川図書館近世史料館・福

井市立郷土歴史博物館(科研費) 一戸

九月七日―九日 愛知県立大学長久手キャンパス図書館(愛知

県立大学文字文化財研究所共同研究) 堀川

九月七日―九日 京都府立総合資料館・京都大学文学研究科図

書館・三千院・岐阜市歴史博物館(科研費) 佐々木

九月十一日―十二日 伊勢市神宮文庫(科研費) 佐々木

九月十五日―十六日 北海道大学附属図書館(科研費) 佐々木

十月十九日―二十日 和歌山県高野町高野山大学図書館(科研

費) 高橋悠介

十一月十六日―十八日 興讓館高等学校 堀川・高橋智

十一月十八日―十九日 西尾市岩瀬文庫(科研費) 一戸

十一月二十八日―三十日 京都市陽明文庫

住吉・堀川・矢島明希子

十一月二十九日―三十日 京都市大谷大学図書館(科研費)

高橋悠介

十二月十八日―二十四日 建仁寺兩足院

住吉・堀川・高橋悠介・矢島

二十九年一月十七日 京都大学附属図書館(科研費) 高橋智

一月二十四日―二十七日 広島市立中央図書館・尾道市浄土寺・

尾道市立中央図書館 住吉・一戸・高橋悠介

一月二十七日―二十九日 稲沢市本源寺(科研費) 高橋悠介

二月五日―八日 天理市天理大学附属天理図書館 一戸

二月六日―七日 一宮市博物館 高橋智・堀川

二月八日―十日 太宰府市九州国立博物館(科研費) 高橋悠介

三月八日―十日 鶴岡市立図書館 高橋智・堀川

三月二十日―二十二日 富山市立図書館本館・射水市大楽寺(科

研費) 一戸

三月二十二日―二十三日 近畿大学中央図書館(科研費) 佐々木

三月二十六日―二十八日 銚子市円福寺 佐々木・一戸・高橋悠介

二十八年九月五日―七日 中国上海市上海図書館(国文学研究

資料館共同研究) 高橋智

九月二十六日―三十日 韓国城南市韓国学中央研究院藏書閣・

大田広域市忠南大学中央図書館・ソウル特別市国立中央博

物館(科研費) 住吉

三月二十二日―二十五日 台湾台北故宫博物院(科研費) 高橋智

その他 神奈川県立金沢文庫 観世文庫 宮内庁書陵部 国文

学研究資料館 国立公文書館 国立国会図書館 駒澤大学図書

館 金春宗家 静嘉堂文庫 大東急記念文庫 中央大学文学部

国文学研究室 東京大学史料編纂所 東京大学総合図書館 東

京大学東洋文化研究所 東京都立中央図書館 東洋文庫 徳富

蘇峰記念館 外村南都子氏 前田育徳会尊経閣文庫

V ス道文庫講座・フューチャーライン

○斯道文庫書誌学講座(大学院)

I(春学期) II(秋学期)(国文学) 佐々木孝浩

写本を中心とする日本古典書誌学概説

III(春学期) IV(秋学期)(漢籍) 高橋智

漢籍古籍整理の実修

V(春学期) VI(秋学期)(基礎) 堀川貴司

○海外

日本の版本

○斯道文庫設置講座(学部)

書物と文化Ⅰ(春学期)Ⅱ(秋学期)

一戸渉

書誌学の方法と実践

書物文化史研究Ⅰ(春学期)

住吉朋彦

日本の書物から東洋の書物を窺う―宗教・学問・出版―

書物文化史研究Ⅱ(秋学期)

高橋悠介

寺院伝来の書物を学ぶ

○フューチャーラーン

慶應義塾大学では、英国のオンライン教育配信事業体「フュー

チャーラーン」に参加し、その最初の番組として「Japanese

Culture Through Rare Books」(主任講師佐々木孝浩、講師一戸

渉)を二十八年七月十八日より三週間(全三回)にわたり配信、

同番組は二十九年一月九日より再放送も行われた。

## VI 講演会・シンポジウム

○宮内庁書陵部収蔵漢籍画像公開記念国際研究集会「日本にお

ける漢籍の伝流―デジタルアーカイブ―宮内庁書陵部収蔵漢

籍集覧」の視角―

二十八年六月四日 於北館ホール

本集会は日本学術振興会科学研究費補助金(基盤研究A)「宮

内庁書陵部収蔵漢籍の伝来に関する再検討―デジタルアーカイブ

ブの構築を目指して―」(代表・住吉)の成果を発信するため、

書陵部漢籍研究成果報告会実行委員会を主催者とし、斯道文

庫・東京大学東洋文化研究所を協賛者として開催されたもので

ある。なお、本集會および関連セミナーにおける海外研究者招

聘等につき、鹿島学術振興財団国際学術交流援助(国際研究集

会)(五十万円)、国際文化交流事業財団人物交流事業(十万円)、

日韓文化交流基金人物交流助成(十万円)の助成を得た。

プログラム(敬称略)

開会の辞

佐藤道生

来賓挨拶

小森正明(宮内庁書陵部)

デジタルアーカイブ「宮内庁書陵部収蔵漢籍集覧」の紹介

住吉

【研究報告Ⅰ 仏典と漢籍旧鈔本】

宮内庁書陵部所蔵の聖語蔵関係経巻について

小倉慈司(国立歴史民俗博物館)

『古文孝経』永仁五年写本の問題点

佐藤

【講演とシンポジウム 漢籍研究とデジタルアーカイブ】

司会 金文京(鶴見大学)

アメリカ合衆国における漢籍研究とデジタルアーカイブ

マーティン・ヘイドラ(プリンストン大学)

韓国伝来漢籍の研究とデジタルアーカイブ

沈慶昊(高麗大学校)

陳正宏(復旦大学)

日本漢籍の研究とデジタルアーカイブ  
蔵書概説データベースの効用

高橋智

【研究報告Ⅱ 宋元版と家別け文庫】

書陵部本宋版論衡について

矢島明希子

徳山毛利家旧蔵「伝奇四十種」所収『楊東來先生批評西遊記』

の書名改刻をめぐる一原題は「李卓吾先生批評西遊記」か？

閉会の辞

上原究一(山梨大学)

閉会の辞

大木康(東京大学東洋文化研究所)

なお、これに合わせ、斯道文庫サーバより「宮内庁書陵部

収蔵漢籍集覧―書誌書影・全文影像データベース」([http://db.sido.keio.ac.jp/kanseki/T\\_bib\\_search.php](http://db.sido.keio.ac.jp/kanseki/T_bib_search.php))が一般公開され、

年度末までに所蔵する南北朝以前書写の漢籍旧鈔本と宋刊本、

平安時代以前書写の仏典全ての収載を終えた。

○日韓学術共同セミナー(右記集会の関連行事として行われた)

二十八年六月三・五日

於研究室棟・大学院棟

漢字文献の受容と学問の比較研究

○斯道文庫講演会(第二十九回)

沈慶昊

二十八年十月二十八日(金)

於東館八階ホール

講師 立命館大学教授 芳村 弘道 氏

演題 董康と近代日中の漢籍交流

## VII 展示会

○センチュリー文化財団寄託品展覧会

「描かれた古 近世日本の好古と書物出版」(共催…慶應義塾大

学アート・センター、慶應義塾図書館)

会場 慶應義塾図書館展示室、慶應義塾大学アート・スペース

期間 二十八年十一月十四日―十二月十六日

## VIII 図書

平成二十八年年度図書増加冊数

五五四冊

内寄贈書

二〇六冊

平成二十八年年度逐次刊行物増加数

四種

平成二十八年年度三月末日現在累計蔵書数

一二四、七八九冊

他に寄託図書

約三六、七〇〇冊

寄託美術品 センチュリー文化財団コレクション

(文庫約一万五千冊を含む)

一、七四〇点

御厚情をお寄せ頂いた主な寄贈者(逐次刊行物を除く)の方々の

芳名を左に録し深甚の謝意を表する(敬称略・五十音順)。

朝日町歴史博物館 アジアの文化と思想の会 石丸羽菜 出光

美術館 内田賢治 玉泳最 温故学会 影山輝國 笠間書院

神奈川県立金沢文庫 金沢市立玉川図書館近世史料館 金子馨

北島徹也 九州国立博物館 京都国立博物館 京都大学人文

科学研究所 同附属東アジア人文情報学研究センター グエ

ン・テイ・オワイン 熊本県立美術館 皇學館大學神道研究所

国際文化会館 国文学研究資料館 国立中央博物館(大韓民

国) 坂井昭 三人社 実践女子大学芸資料研究所 昭和女

子大学光葉博物館 徐興慶 書院部漢籍研究成果報告会実行委

員会 武田科学振興財団杏雨書屋 田島公 中央研究院歴史語

言研究所(中華民国) 天理大学附属天理図書館 東京国立博

物館 東京大学東洋文化研究所附属東洋学情報センター

東洋文庫 豊島秀範 中西直樹 中山一磨 名古屋大学文学研

究科附属人類文化遺産テクスト学研究センター 西尾市岩瀬文

庫 二松学舎大学 野上記念法政大学能楽研究所 ノートルダ

ム清心女子大学生活文化研究所 花登正宏 藤井淳 藤本灯

藤本幸夫 仏教美術研究上野記念財団 北京大学出版社 明德

出版社龍谷学会 蓮華山正法寺

### IX 文献複写

本年度も公私の図書館・文庫所蔵本についてマイクロファイ  
ム等による副本の作成を行った。

平成二十八年増加数

百呎ネガフィルム

二九リール

同 D・Dフィルム

二一リール

(劣化したネガフィルムの更新として)

電子媒体(DVD-R)

九枚

紙焼写真・電子複写

三一七冊

平成二十七年三月末日現在累計

百呎ネガフィルム

二、一〇九リール

同 D・Dフィルム

三六一リール

同 ポジフィルム

四、二二五リール

電子媒体(DVD-R)(未登録分含む)

一五六枚

紙焼写真・電子複写

七、八三六冊

同(未装訂)

約三、〇〇〇枚

以上の複写は本文庫の研究事業計画に賛意を表された所蔵者  
各位の御厚意によるものである。芳名を左に録し深甚の謝意を  
表す。

建仁寺両足院殿 陽明文庫殿 銚子市円福寺殿

### X 見学者

本年度の斯道文庫見学者は以下の通り(来庫順・敬称略)。

NHK奈良放送局梅原純一(有)ヴェーポイント寺田剛 オー

ブン・ユニバーシティ(ロンドン) 山形直子 ミシガン大学

ジョンナサン・ズウィッカー S・E・カイル 韓国学中央研究

院玉泳殿 金昭姫 李允羅 蔚山大学盧京姫 パリ・テイドロ

大学アニック堀内他一名 慶應義塾高等学校ライブラリークラ

ブ部員(引率・石川俊一郎) ブランダイス大学(アメリカ)マ

シュー・フレリー フランス高等研究実習学院博士課程ジュリ

アン・フォーリ 名古屋大学大学院塩村耕 筑波大学大学院逸村裕 日本古書通信社樽見博 風媒社林桂吾 西尾市岩瀬文庫 青木真美 宮崎市清武町小学生文化交流使節団(小学生二一名 引率者八名 添乗員一名) カリフォルニア州立大学バークレー校東アジア図書館マルラ俊江 日本女子大学大学院生古澤彩子他四名 駒澤大学櫻井陽子 同学部生八名 カリフォルニア大学ロサンゼルス校東アジア図書館バイアロック知子 重慶師範大学周曉風 凌孟華 靳明全 張全之 文学部関根謙 早稲田大学大学院生柴崎公美子他三名 イェール大学アートギヤラリー大木貞子 国立歴史民俗博物館三上喜孝 島津美子 東京大学史料編纂所藤原重雄 稲田奈津子 鶴見大学神林尚子 同学部生三名 上智大学大学院生丸井貴史他二名 越南漢喃研究院王氏紅 三田メディアセンター市古みどり他六名 シアトル大学嘉住直美 慶應義塾湘南藤沢高等部久松宏二 同生徒三名 国文学研究資料館海野圭介 復旦大学中華古籍保護研究院楊光輝他一名 学生一三名 クリステイーズ(ロンドン) M・L・フォード 文学部徳永聡子 安形麻理

XI 刊行事業

一、斯道文庫論集 第五十一輯 A5判二二六頁 二十九年二月二十八日発行  
 なお、これまで刊行したすべての論集は、慶應義塾大学

学術情報リポジトリ (KOARA) <http://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/> において閲覧可能になっている。

既刊図書一覽

- 斯道文庫書誌叢刊  
 語書林出版書籍目録集成四巻  
 室町時代物語類現存本簡明目録  
 ○コルデイエ文庫分類目録 二千元  
大塚岸和田高等学校和漢書目録  
 ○慶應義塾大学斯道文庫収蔵マイクロフィルム等目録初輯 七千元  
附編研究所  
 ○慶應義塾大学斯道文庫貴重書蒐選 図録解題 八千元  
附編研究所  
 ◇古今集注釈書伝本書目 三万円  
附編研究所  
 ○慶應義塾大学斯道文庫蔵 浜野文庫目録―附善本略解題 二万円  
附編研究所  
 ○慶應義塾大学斯道文庫撮影 建仁寺両足院蔵書マイクロフィルム 目録初編 二千元  
 斯道文庫古典叢刊  
 ○四部合戦状平家物語 二万円  
 ○百二十句本平家物語 一万五千元  
 ○大かうさまくんきのうち (品切)  
 ○諸本対照十七条憲法訓読並校異 (品切)  
 ○未刊影印橘守部著作集十巻 各巻七千―一万円 (一部品切)

- 慶應義塾図書館蔵 小津家古筆切集影 三千六百八十九円
- ◇中世聖徳太子伝集成五巻 九万八千円
- その他
- 阿部隆一遺稿集四巻 各巻九千〜二万円 (一部品切)
- 斯道文庫三十年略史 三千五百円
- ◇古今集注釈書影印叢刊第一期八巻 八万円
- ◇図説書誌学―古典籍を学ぶ 三千五百円
- (○印は汲古書院 ◇印は勉誠出版より販売 価格は税別)